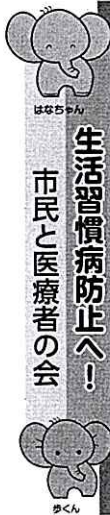


小象の「ニコター」を「コウ」

生活習慣病防止へ！

市民と医療者の会



— 42 —

◎COPDとは

COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease) 慢性閉塞性肺疾患の略称です。「慢性気管支炎」と「肺気腫」とが、ひきつらねられてきた。桂

も日本でも非常に多く、今後増加すると言われている。2005年に世界で500万人がCOPDで死亡しました。30年までに死因の第3位になると推測されています。日本のCOPDによる死亡者数は2017年には1万8523人で、1995年以降で最多です。男性では2017年の死亡原因の第8位で1万5266人でした(ちなみに男性の4位は肺炎5万3千人、男性の7位は脳血管性肺炎2万人)。

◎患者数は多いのですか？
COPD患者は、世界的に

COPDは肺の生活習慣病

に気付かないかCOPDと正しく診断されていないため、適切な治療を受けられない患者が国内に500万人いると推計されています。これは大きな問題であり、COPDの認知度を上げる対策が必要

◎なぜ苦しくなるのですか？
え、気管支は狭くなり吸った息を十分に吐き出せなくなるため苦しくなります。2本に分岐しながら段々細くなり、23回も枝分かれしていると推計されています。最後に肺胞という小さな袋に到達します。肺胞は、ガス交換(酸素を体内に取り込み、二酸化炭素を体外に出す)の場

直ちに禁煙することが最も重要です。禁煙によりCOPDの進行を緩やかにできます。一度壊れた肺胞を元に戻す方法はありますが、気管支拡張薬(抗コリン薬、ベータ2刺激薬)を吸入して気管支を拡げると、息切れが軽くなり、薬に動けるようになります。喘息を合併していれば吸入ステロイド薬を追加します。インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを接種し、感染症によるCOPDの増悪を予防することも必要です。十分な栄養を摂り、呼吸リハビリテーションなどで筋力を維持することも重要です。病気が進行すれば、在宅酸素療法を開始します。

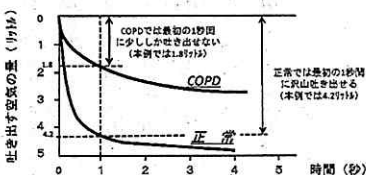
患者の9割が喫煙者

◎どんな症状が出ますか？

この病気の怖いのは、「初期は無症状で、ゆっくりと進行し、しかも元通りには治らない」ことです。はじめは長引く咳や痰で始まり、やがて階段や坂道で息切れを感じるようになり、最後にはじっとしていても苦しくなります。

所です。大人の肺では肺胞は約8億個あり、全部広げるとテニスコート1/4面の面積になります。COPDでは、たばこが原因となり気管支や肺胞に炎症が起きます。その結果、肺は壊れてガス交換が障害され酸素不足になることに加

肺機能検査の努力呼気曲線*



*できるだけ多く息を吸い込み、一気に最後まで吐き出す経過を示す曲線。

◎まとめ
COPDを良く知り、疑わしいと思ったらすぐに医療機関を受診しましょう。肺機能検査を受けて早く診断してもらい、適切な治療を受けましょう。

(船橋市立医療センター呼吸器内科 多部田弘士)